

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2905	領域略称名	重力波創世記
研究領域名	重力波物理学・天文学：創世記		
領域代表者名 (所属等)	田中 貴浩 (京都大学・大学院理学研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、我が国が強みを持つ重力波データ解析、重力波源となる天体（重力波対応天体）のマルチメッセンジャー観測、理論的研究が三位一体となって重力波物理学・天文学の流れを力強く押し進め、新領域の創成を目指す研究領域である。

本研究領域において、重力波望遠鏡による重力波検出と観測衛星や地上望遠鏡による電磁波検出の間に観測網を構築し、分野間に新たな連携を作ったことは大きな成果である。重力波望遠鏡 KAGRA の感度が研究期間内に十分に向上せず、成果の中心とならなかった点は残念ではあったが、中性子連星合体による重力波イベントの検出とそれに伴う電磁波現象の追観測により、マルチメッセンジャー天文学の先駆けとなる成果を挙げたことは特筆に値する。また、重力波天体を対象とした幅広い研究手法を結集し、新たな研究の枠組みを作り出した点は新学術領域研究として高く評価できる。さらに、研究期間内における査読済論文の発表活動は満足できる水準である。